

原単位の改善のための取組に関する状況【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

株式会社 山陰クリエート

| 日本標準産業分類 | コード | 項目名 |
|---------------|--------------|----------|
| 中分類 | 882 | 産業廃棄物処理業 |
| 細分類 (申請事業) | 8822 | 産業廃棄物処分業 |
| エネルギー管理統括者 | 【役職】 【氏名】 | |

【エネルギーの使用の合理化】

| 主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績) | 原単位分母 | | | | | |
|---|--------------|------------|------------|------------|------------|--|
| | 主たる事業の構成割合 % | | | | | |
| 事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | |
| 事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%) | | | | | | |

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

| 主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績) | 原単位分母 | | | | | |
|---|------------|------------|------------|------------|------------|--|
| | DR実施日数 | | | | | |
| 事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | |
| 事業者全体の 5年度間平均原単位変化 | | | | | | |

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

| | | |
|-------------|--------|---|
| ベンチマーク区分 | | |
| 目指すべき水準 | kL/t以下 | |
| ベンチマーク指標の状況 | | |
| ベンチマーク区分 | | |
| 目指すべき水準 | kL/t以下 | |
| ベンチマーク指標の状況 | | |
| ベンチマーク区分 | - | - |
| 目指すべき水準 | - | |
| ベンチマーク指標の状況 | - | |
| ベンチマーク区分 | - | - |
| 目指すべき水準 | - | |
| ベンチマーク指標の状況 | - | |

| | |
|-------|---------------|
| 銘柄コード | |
| 法人番号 | 2270002007436 |

| | | | | |
|--------------|--------|----|-------------------|----|
| エネルギー総使用量 | 33,467 | GJ | 863.45 | kL |
| 前年度エネルギー総使用量 | | | | kL |
| 非化石エネルギー総使用量 | | GJ | | kL |
| 調整後温室効果ガス排出量 | | | t-CO ₂ | |

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

主事業である廃棄物処分業では、破碎機等を使用して産業廃棄物の中間処理を行います。RPF製造事業では、廃プラスチック等の廃棄物を破碎機で粉碎し、圧縮成形機を用いて溶融加工して製造しています。プラスチック成形事業では、廃プラスチックを主原料として押出成形機等を用いて溶融・混練加工して製造しています。これらの事業のうち、RPF製造事業で多くの電力エネルギーと化石燃料を消費します。省エネ設備の導入や、処理・生産効率の改善等により生産数量あたりの原単位使用量の削減に取り組んでいます。

【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。